

# いわた IWATA 市議会だより

平成 25 年  
2013  
2月1日発行  
No. 39

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845 (議会事務局)



## 明るく笑顔で新年を 楽しい餅つき会

1月3日、磐田駅前の観光案内所で、新年の餅つき会が行われました。ふかした餅米が臼に入れられると、とよおか採れたて元気むらの皆さんや子供たちが、協力してテンポよく、きねを振るいました。ついた餅は、きな粉をまぶし、会場に集まった家族連れなどに振る舞われました。

## 11月定例会

市議会は、平成24年11月定例会を11月21日から12月25日までの35日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の暴力団排除条例など26議案や議員発議による市長専決処分事項の指定の一部改正のほか、請願1件について慎重に審議しました。その結果、請願は不採択、その他はいずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。

なお、代表質問は、11月30日・12月3日の両日にわたり、各会派を代表して6名の議員が、一般質問は、12月4日に6名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをいただきました。

## 主な内容 (ページ)

● 議会報告会	.....	2
● 代表質問 (6会派)	.....	3 ～ 6
● 一般質問 (6名)	.....	7 ～ 9
● 専決処分事項の指定の一部改正	.....	7 ～ 9
● 請願、審議結果	.....	10
2月定例会の予定	.....	10

初めての議会報告会を開催  
 ～市政や議会に多くの意見～

本市議会では、24年6月に制定した議会基本条例に基づき、10月28日(日)に、初めての議会報告会を市内3会場で開催しました。当日は、計161名の皆さんに御来場いただき、誠にありがとうございました。

報告会では、活発な質疑や意見交換が行われましたので、その一部を掲載します。

皆さんからいただいた御意見・御要望は、議会で課題を整理し、検討をしています。今後、協議を重ね、政策提言等につながるなど、市民の声を生かした議会活動に取り組んでまいります。

今後も、議会報告会を開催してまいりますので、ぜひ御参加ください。

なお、市議会ホームページにて報告書、アンケートの集計結果の詳細が閲覧できます。



北部会場(豊岡支所) 参加者54名



南部会場(長野公民館) 参加者67名



中部会場(イブラザ) 参加者40名

議会からの報告事項

- ①磐田市議会基本条例 ②議員の定数を定める条例の一部改正 ③23年度一般会計及び特別・企業会計決算 ④夜間急患センター条例の一部改正 ⑤一般会計補正予算

議会報告会での質問、意見等(一部抜粋)

【議会基本条例について】

**質問:** 会議は原則公開となったが、非公開もあるか。また、公開により、発言しにくくなることは。  
**回答:** 非公開の会議もある。公開となった会議では、むしろ議論は活発になっている。

【市民と議会の関係について】

**質問:** 今後、議会と市民の意見交換をどのように進めていくのか。  
**回答:** 常任委員会と自主防災会との意見交換を行っている。議会と市民、団体等の意見交換の場を同様に設けていきたい。

【議員の定数を定める条例の一部改正について】

**意見:** 定数削減により、市民とのパイプ役の機能が低下しないようにしてほしい。  
**回答:** 意見を重く受け止め活動する。定数が削減されても市民の声が反映できると確信する。

【防災対策について】

**意見:** 津波想定などの情報が市民に行き届いていないのでは。  
**回答:** 県より4次想定が出た時点で市も動くとのことであり、期待していただければと思う。

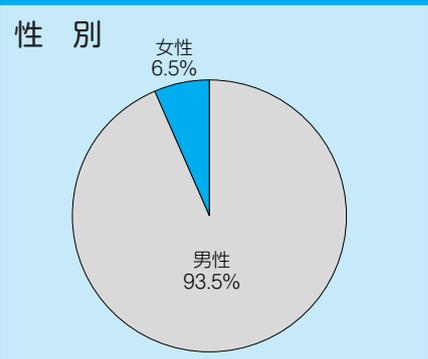
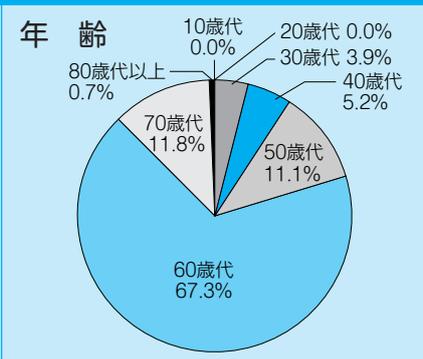
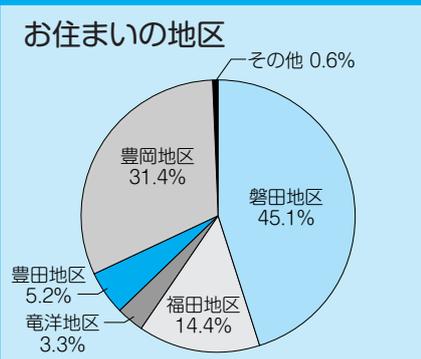
【政務調査費について】

**質問:** 政務調査費の使途や公開について説明を。  
**回答:** 議員の資質を高めるための調査研究費やインターネット、電話などの費用に対し、議員一人あたり年30万円が会派に支給される。金額は、議会ではなく報酬審議会に諮られ、提案される。内容は、市議会ホームページに掲載している。

【その他意見・要望】

- ・ 広島平和記念式典参加者(市長・議長・中学生)による報告会や平和授業の実施を。
- ・ 防災に関し、必要な情報にメリハリをつけてほしい。
- ・ 議会報告会は、開催回数、開催場所、内容等検討してほしい。

参加者の状況(アンケート結果より)



# 代表質問(要旨)

(一人会派の議員は行えないことになっています。)

— 市政を問う —

## 市政運営の検証と課題 市町村合併の検証

誠和会 質問者 河島直明 議員

### 市政運営

**質問** 今後の市政運営の目標市の将来像は。

**答弁** 就任以来、一貫して「新市の次の時代の基礎を築く」と言い続け行動してきた。合併10周年を迎えるに当たり、子供や若者たちのために新たな市歌の制定や、友好都市協定の締結等、次の時代の基礎づくりをさらに進めたい。

**質問** 25年春の改選期を迎え市政を担う決意を伺う。

**答弁** 25年春の市長選挙において審判を仰ぎ、市民の支持をいただけるならば、引き続き市政のかじ取り役を担い、全体のバランスでナンバーワンの市を目指し、引き続き全力で挑戦していく決意である。

**質問** 25年度予算の基本方針重点事業を伺う。

**答弁** 基本方針は、総合計画

の着実な推進、市民生活重視の予算、公共施設の見直しの推進、持続可能な健全財政の推進、行財政改革の徹底推進の5つを柱としている。具体的には小中一貫教育の本格導入、地域活性化のためのスマートインターチェンジの設置促進、事業者用太陽光発電設備導入支援事業補助金の創設などを考えている。

### 市町村合併

**質問** 市町村合併の現状認識と課題は。

**答弁** 住民サービス向上と5市町村の一体感の醸成が図られたが、効率化によるマイナスイメージもある。就任当時から、5市町村の信頼関係の再構築、一体感の醸成を課題とし、支所の活用や地区活動拠点の確保、南部地区救急医療施設整備等を進めてきたが、

今後も市民と意思疎通を図り、まちづくりに取り組みたい。

**質問** 地域審議会の意義と今後の位置づけを伺う。

**答弁** 地域審議会は、新市まちづくり計画の進捗状況や、



支所活用 (豊岡図書館)

長室等を活用する中で、地域の意見を伺っていきたい。

## 市長の政治姿勢／原発ゼロ 市民の命、くらしを大切に する市政を 日本共産党豊田市議会 質問者 根津康広 議員

### 市長の政治姿勢

**質問** 国・県待ちの姿勢が多く、積極的な政治姿勢が見られなかったと思うが見解を。

**答弁** 評価は市民が行うもので、積極的に頑張ってきたつもりでいるが、甘んじてお受けしようと思う。

**質問** 消費税増税法が強行された。増税中止を国に働きかける意思はあるか。

**答弁** 社会保障や財政健全化のために、消費税を上げざるを得ない状況にまで、国の財政は行き詰まっており、地方も財政規律を守る責任があるとも考えている。経済状況を

地域の課題について審議を行っている。一方で会議の形骸化や市政懇談会との重複等が指摘されており、地域審議会は10年間を区切りとして終了する。その後は市政懇談会や移動市

域の課題について審議を行っている。一方で会議の形骸化や市政懇談会との重複等が指摘されており、地域審議会は10年間を区切りとして終了する。その後は市政懇談会や移動市

を問われた場合は、はっきりと反対する。

### 市民の命、くらし

**質問** 高齢者の肺炎球菌予防接種に助成を。

**答弁** 肺炎球菌感染症は、重篤な疾患を引き起こす危険性があるが、現在、高齢者対象の成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化は明確でなく、今のところ助成は考えていない。

**質問** 国保税の引き下げと、減免制度の拡充策の見解を。

**答弁** 高齢化等による医療費の増加などにより、国保事業は大変厳しく、税収不足分を一般会計繰入金で補てんしており、保険税引き下げは考えていない。減免制度は、現状の制度を維持していきたい。

**質問** 豊岡地域福祉センターは、存続を求める声があり、利用者の願いを反映すべきと考えるが、今後の対応は。

**答弁** 施設譲渡は、24年度中に方針決定することになっており、法人と調整している。譲渡を前提とし、それまでは地域福祉センターとしての機能を維持する。



豊岡地域福祉センター

# まちづくりの設計図／防災対策 福祉関係ほか／市立総合病院の経営健全化

志士の会 警田 質問者 小木秀市 議員

## まちづくり

**質問** 総合力ナンバーワンのまちづくりとは。

**答弁** 子育て環境や自然環境教育の充実や文化活動のしやすさ等、磐田に住みたいと感じる要素は一つではない。まち全体のバランスがとれた市をつくり上げていきたい。

**質問** 収納対策の向上策は。

**答弁** 税は滞納整理方針により滞納者の財産調査、滞納処分等を行う。税以外の債権では、債権管理条例に基づきマニュアルを作成し、蓄積したノウハウを全庁的に広めていきたい。

## 防災

**質問** 浜岡原子力発電所30キロ圏内の対応策は。

**答弁** 地域防災計画原子力災害対策編の策定作業を進めている。原子力防災関連の資材は、24年度中に国の交付金措置により県が購入し、市町に配備される。

## 福祉ほか

**質問** 社会福祉協議会のあり

## 方について伺う。

**答弁** 社会福祉協議会

職員の配置は、他市と比較しても充実した職員体制であるが、経営



漁師のどんぶり屋 (福田漁港)

基盤を強化する上でも、一定の改革は必要と認識している。

社会福祉協議会事業の需要は高まっており組織体制の充実や職員一人一人の専門職としてのスキル向上のため、支援を継続していく。

**質問** 高齢者へのデマンドタクシー利用の優遇措置は。

**答弁** 利用者を主に高齢者と想定し、利用料金も一般タクシーに比べ低く設定している。現時点での優遇措置は考えていない。利用料金は、全市的に自主運行バスの見直しが進んだ段階で検討したい。

**質問** 福田漁港周辺の整備(食の拠点づくり)は。

**答弁** 福田漁港東側7千mの

県有地に地元水産物、水産加工品、農産物等を生かした、人が集い、楽しみ、にぎわいを創出する場を検討したい。

**質問** 自治会要望の25年度の取り組みの見直しは。

**答弁** 24年度と同様に緊急性や費用対効果を基本に対応していきたい。

**質問** いじめ防止と不登校対策

## 行政施策／福祉施策

公明党 警田 質問者 鈴木喜文 議員

### 行政

**質問** 2期目に向けた渡部市政の重要な強調施策は。

**答弁** 事業推進にスピード感を持って取り組み、あと2年で合併10年を迎えるので、合併してよかったと思っていただけのまちづくりを目指す。

**質問** 市営墓地の今後は。

**答弁** 駒場霊園は、24年9月末で619区画の整備が完了した。計画は763区画だが、10月末で245区画の使用で

**答弁** いじめ防止は、早期発見・解決のため教員への研修や未解決内容についての聞き取り調査と指導内容の確認を行っている。いじめにはチームで対応するよう学校に指導し、場合によりケース会議を協同で開催する。不登校対策は、教育委員会では教育支援員や心の相談員を各学校に配置し、県派遣のスクールカウンセラーとともに対応している。教育支援センターでは、小集団の活動で学校復帰がで

きるようサポートしている。教員に対しては、カウンセリングや不登校対応の研修会を実施し、適切な対応をとることができるようになっている。

**質問** 113億1900万円もの累積欠損金の解消策は。

**答弁** 健全な経営のため欠損金を減らし、早期の黒字化を目指している。地域医療に貢献するとともに、安心・安全な医療の提供や収益の向上及び経費の節減に努める。

## 市立総合病院

**質問** 113億1900万円もの累積欠損金の解消策は。

**答弁** 健全な経営のため欠損金を減らし、早期の黒字化を目指している。地域医療に貢献するとともに、安心・安全な医療の提供や収益の向上及び経費の節減に努める。

デル運行を開始予定である。運賃は無料、運転手は原則無償を考慮しており、市は車両の用意や保険加入などをし、地元は、ガソリン代等を負担してもらおう方向で調整している。

## 福祉

**質問** 成人用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を。

**答弁** 公費助成は考えていないが、定期接種化の動向等を踏まえて引き続き検討する。

## 教育

**質問** 小中一貫教育に全職員がかかわることによる負担増への対応は。

**答弁** 市費負担教員は、本格実施後の2年目以降、各学府

**安全安心と生活環境**

**質問** 地区への交付金等を一括で交付してはどうか。

**答弁** 地区への交付金制度は、地域主導による地域自治に有効と考える。地域への負担増とならないよう、運用方法等について十分に精査した制度設計をしていきたい。また、環境が整った地区への試行実施なども視野に入れ、交付金の受け皿となる地域組織の育成も支援していきたい。

**質問** 自治会への依頼過多について改善の取り組みを伺う。

**答弁** 市では、自治会の負担

1名としているが、試行である1年目は、学府内の各校へ1名ずつの配置を考えている。今後、学校や教職員の負担にならないよう配慮する。

**質問** 小中一貫教育での地域と保護者とのつながりとは。



**答弁** 地域の子供の将来像を共有するなど、学府のねらいを理解し協力していただいたり、地域や保護者の思いを伝えていただくことで、地域に根ざした小中一貫教育を推進する。今後、学府協議会も加わっていただき、地域の特徴ある取り組みが行われていく。

**安全安心と快適な生活環境／教育振興  
福祉と支援ネットワーク／行政全般**

新警田 質問者 寺田辰蔵 議員

を軽減するべく、依頼事項の精査や自治会選出委員の見直し等に取り組んでいる。自治会としても事業の整理や役割分担を検討していただきたい。

**質問** 国道150号バイパスのかさ上げについて、地元要望の進展は。

**答弁** バイパスのかさ上げの可能性は非常に薄いですが、防潮堤のかさ上げには、県も一歩踏み出した見解がある。

**質問** 狭隘な生活道路の安全性を高める対策を考えては。

**答弁** 自転車通行帯の整備は、車道を狭くし路側帯を広くす

ることで自動車の速度も抑え、事故を減らす効果がある。しかし、通行に支障を生じること等もあり、地元や公安委員会等と協議していきたい。

**教育振興**

**質問** グローバル化の進む中で、中学・高校・大学・企業の4者が連携した新学習体系づくりを検討する考えは。

**答弁** キャリア教育の視点からも、市内の中学・高校・大学・企業が連携していくことは大変有意義である。小中一貫教育を推進する上でも、連携がとれるよう考えていく。

**福祉・支援**

**質問** 発達障害者への就労支援のため、農工商連携による法人の設立に向けて検討を。

**答弁** 社会福祉法人やNPO法人が、一般雇用を目指して設立する動きも見られるが、今後状況を把握しながら研究していきたい。

**質問** 子育て支援を企業や事業所と連携して推進しては。

**答弁** 企業や事業所が主体となつて従業員への親教育を進めることは、次代の親が子育ての楽しさや意義深さを理解する場としての意義がある。今後、次世代育成支援推進会

**指定管理者指定特別委員会を設置**

市議会は、公の施設の指定管理者を指定する議案の審査のため、指定管理者指定特別委員会を設置しました。委員会は、今回対象となる47施設の指定管理者候補者について、詳細に審査を行いました。(◎委員長 ○副委員長)

- |       |      |      |
|-------|------|------|
| ◎八木啓仁 | 村田光司 | 加藤治吉 |
| ○高梨俊弘 | 八木邦雄 | 玉田文江 |
| 加藤文重  | 鈴木啓文 | 河島直明 |
| 寺田幹根  | 鈴木喜文 | 鈴木昭二 |
| 松野正比呂 | 川崎和子 | 川村孝好 |
| 寺田辰蔵  | 根津康広 | 岡田暢實 |
| 高田正弘  | 稲垣あや | 増田安邦 |
| 八木正村  | 小野泰勝 | 山田秀市 |
|       | 早川   | 小    |

議で意見交換していきたい。

**行政全般**

**質問** 行政サービスの広域対応と県への要望等をどう進めるか。

**答弁** 広域的な行政サービスに対する受益者負担の水準は、サービス提供エリア内で同一であるべきと考える。今後、近隣市町との連携強化を図りながら、課題業務の内容によつては、国・県を巻き込んでの制



度化も必要と考える。

**質問** 自治基本条例の制定への取り組みを伺う。

**答弁** 本市では、既に市のまちづくりに関する基本理念や市民・団体・事業者・市の役割等を明らかにした協働のまちづくり推進条例を制定している。自治基本条例と協働のまちづくり推進条例は、類似している部分もあるので合併10周年に向けて改廃を含めて研究していきたい。

### 磐田市の諸課題

創志会 質問者 岡 實 議員

**質問** 津波避難タワー建設など新たな津波防災対策は。

**答弁** 24年度事業により津波避難施設の空白地は解消されると考えており、第4次地震被害想定により新たな整備が必要ならば対策を検討したい。

**質問** 25年度の防災対策の予算規模と重点事業を伺う。

**答弁** 緊急的な防災対策予算であった24年度よりは減少する見込みで、第4次地震被害想定による地域防災計画の修正や、地震対策マニュアル、ハザードマップの整備、市役所の業務継続計画の策定など、ソフト対策を重点的に実施していきたい。

**質問** 沿岸部企業の防災対策、商工業振興策、活性化策は。

**答弁** がんばる企業応援団や職員による訪問活動で、企業ニーズの把握に努めるとともに、市の防災対策事業を伝えるなど、できることから取り組んでいる。今後も社会情勢を的確に把握し、企業ニーズに答えられる施策の提案など、

スピード感を持って進められるよう努力していきたい。

**質問** 浜岡原発30キロ圏内の対応策について伺う。

**答弁** 25年3月を目標に磐田地域防災計画原子力災害対策編の策定作業を進めている。原子力防災関連の資機材は、24年度中に県が購入し市町に配備することになっている。

**質問** 見付、豊田地区への交番設置の進捗は。

**答弁** 県警本部からは、警察署の再編や老朽交番の耐震化を優先し、新設交番の設置は、その後になるとの回答である。見付地区は、候補地の確認により交番適地だが、豊田町駅前交番は、新設は困難との意見であり、市としては、見付交番の設置を優先し、豊田町駅前には、警察パトロールのさらなる強化を要請している。

**質問** 学校給食施設の見直し方針と方式の選択等は。

**答弁** 行財政改革大綱による民間活力の導入方針や、17年度に実施した学校給食検討委

## いじめや虐待への対策強化を市・教育委員会に要望書提出

市議会は12月26日、全国的に多発しているいじめ、虐待等に関し、施策の充実と体制強化を図るよう求める要望書を市長と教育委員長に提出しました。

### 子どもたちの健やかな成長に関する要望書（要旨）

子どもたちは、将来を担う大切な存在であり、その健やかな成長は市民すべての願いである。しかし、今日、我が国では、連日のように青少年による社会を震撼させる事件が多発し、憂慮すべき事態を招いている。

一方、虐待、いじめ、不登校、学級崩壊等、児童生徒が抱える問題は複雑化、深刻化している。この背景には保護者の教育に対する考え方や教師の多忙化、核家族化等が複雑に絡み合い、その対応を一層困難にしている。

幸いにして本市では、子どもたちが抱える課題に真正面から向き合い、きめ細かな支援に努めてきていることから、憂慮すべき状況には至っていないものの、この全国的な現況を楽観視していることは許されない。

よって、市議会は、市長と教育委員会がより連携を密にして、現在の青少年のコミュニケーション力の不足や家庭・地域の教育力の低下、いじめ、虐待等々、子どもたちの健全育成を阻む事象を今一度検証するとともに、条例化するなど、全力を挙げてきめ細かな対策を講じるよう強く要望する。



員会にて、民間委託化、センター化の方針が出されたので、これに従い現在まで進めてきた。今後は、既存センターの受配校再編の研究や将来的な新センターの建設についても考えていく。



**質問** 小中学校のパソコンリース期間の更新前倒しは。

**答弁** 25年度は17年度に導入したパソコン、26年度は18、19、20年度に導入したパソコンの更新を計画的に行う予定である。

**質問** 遠州豊田PA周辺開発の取り組み状況と見通しは。

**答弁** 現在、下野部工業団地の開発手続を進めており、まずはこの開発と企業誘致に全力で取り組み、状況

# — 市政を問う — 一般質問 (要旨)

## 障害者対策

### メンタルヘルス対策／少子化対策

創志会 高田 正人 議員 (二問一答)

#### 障害者

**質問** 障害者の働く場の現状と対策を伺う。

**答弁** 障害者雇用は磐田公共職業安定所管内で1・69%と法定雇用率1・8%に達していない。市ができることは限られるが、公共職業安定所等と連携し啓発に努めたい。

**質問** 障害者等に働く場を提供するソーシャルファームへの支援について見解を。

**答弁** 同制度により、障害者の雇用拡大が期待されている。実態調査を行い、支援策も研究し、具現化を図りたい。

**質問** 国は、障害を持つ子供が普通の小中学校に通学しやすくする方針を固めた。今後の課題と対応を伺う。

**答弁** 課題は、専門的な教育ニーズに対応するための研修や施設等のバリアフリー化などである。子供にとって最適

#### 少子化

**質問** 少子化対策の現状と課題、対策について伺う。

**答弁** 相談事業や子ども医療費の助成拡充等に努めたが、母親が孤立し、子育ての不安を抱える等の課題がある。(仮称) 福田幼保園の整備による教育・保育の基盤強化やニーズ調査等を実施したい。

**質問** 行政が婚活に取り組むことについて見解を。

**答弁** 民間と役割分担していくことが必要である。25年度以降、モデル事業を試し、今後の取り組みを研究したい。



## 津波防災対策

### 教育委員会の補助執行

志士の会磐田 八木 邦雄 議員 (二問一答)

#### 津波対策

**質問** 多重防衛による津波防衛対策を考えているか伺う。

**答弁** 防潮堤のかさ上げは、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会の中で県に要望している。津波対策に係る事前調査として、県内8海岸でボーリ

## 建設産業委員会視察

所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。(24年11月5日～7日)

#### 視察事項

- (1) 景観行政 (岩手県奥州市)
- (2) 観光行政 (秋田県仙北市)
- (3) 中心市街地活性化策 (岩手県雫石町)



いとの回答であり、防潮堤の整備を粘り強く要望したい。

**質問** 天竜川、太田川、仿僧川の遡上による想定被害と対策を伺う。



天竜川河口

**答弁** 国の第2次報告における遡上高は、天竜川は、河口から竜洋西堀緑地公園までが2～5m、公園から天竜川鉄橋までが30cm～1m、太田川は、河口から豊浜橋までが2～5m、和口橋までが1～2m、二瀬西橋までが30cm～1mで、堤防より低いため、越水はしないと思われる。仿僧川は、河口の耐震水門が機能

**質問** 市民にとってわかりにくい現在の状況を早く解消したい。地域からは、地域が活動するための拠点施設が望まれている。地域住民や団体にとって使いやすい施設であるべきと考えるので、地域の意向を確認しながら協議を進め、早い時期に方針を示したい。

**答弁** 市民にとってわかりにくい現在の状況を早く解消したい。地域からは、地域が活動するための拠点施設が望まれている。地域住民や団体にとって使いやすい施設であるべきと考えるので、地域の意向を確認しながら協議を進め、早い時期に方針を示したい。

# 教育行政の諸課題 公共施設の防災訓練

創志会 村田光司 議員（二問一答）

## 教育行政

**質問** 子ども・子育て新制度で、今後小学6年生まで拡大する放課後児童クラブの運営形態の検討状況は。

**答弁** 25年度以降に公表予定である国の基本指針や運営基準を参考に検討していく。



**質問** 学校防災に資する教職員の養成状況を伺う。

**答弁** 4月、5月に通学路の点検や地域の確認を行い、防災に対する意識を高めている。校内では、防災計画に従い避難経路の確認や避難訓練での役割を決めている。

**質問** 児童生徒への防災教育、防災対策強化の実践内容は。

**答弁** 避難訓練が中心の防災教育に加え、今後は、防災に関する基本的知識のほか、図上訓練、防災かるた、防災クイズ、避難所運営ゲームなどを学習内容に取り入れ、さまざまな自然災害に対応できる防災教育を実施したい。

**質問** 公共施設における防災訓練の現状は。

**答弁** 23年度は、17カ所の施設で年2回、地震時の対応講習、避難誘導、消火器操作、AED取り扱いなどの訓練を実施している。

## 行政関連課題／安心・安全のまちづくり 教育関連課題

公明党警田 小野泰弘 議員（一括質問）

### 行政関連課題

**質問** 公共施設の長寿命化の保全計画は。

**答弁** 将来の維持・管理コスト等の基礎となる（仮称）公共施設白書の策定準備をしている。これをもとに、公共施設の長寿命化計画につなげたい。

**質問** 公会堂改修等の補助について拡大の見込みは。

**答弁** 修繕の補助金は、ユニバーサルデザインと耐震化を対象としてきたので、現時点



改修されたトイレ（自拍子老人憩いの家）

での拡大は考えていないが、必要性などに考慮し、社会情勢に応じて対応したい。

### 安心・安全

**質問** 子宮頸がん検診で、原因ウイルスのDNAを調べるHPV検査の考えは。

**答弁** 今の細胞診検査とHPV検査の併用に対する有効性や、補助金が明確になった段階

で、導入するか検討したい。

**質問** 更生保護における就労支援と、民生児童委員の活動

訓練の現状は。

**質問** 公共施設のうち小規模で管理者が常駐していない施設の防災訓練の状況は。

**答弁** 消防用設備等の法定点検や所管課の定期的な施設確認や所管課の定期的な施設確認

認は行っているが、訓練等は現時点では実施していない。  
**質問** 施設利用者参加型の訓練が最も有効的と考えるが見解を伺う。

**答弁** 施設の大小にかかわらず、施設利用者が参加する防災訓練は必要である。今後は管理者が常駐していない施設においても、どのような訓練が有効か検討したい。

### 支援の考え方は。

**答弁** 国・県の就労支援に協力している保護司活動を支えていきたいので、保護対象者への直接支援は考えていない。また、民生委員は多忙なので、

**質問** 子供たちの理科離れの現状と対応は。

**答弁** 本市の児童生徒は、学習内容の定着もおおむね良好である。観察や実験を重視し、自然科学に対する関心を高めるようにしている。

## 公共施設の統廃合 市職員／教育の諸課題

日本共産党警田市議団 稲垣あや子 議員（二問一答）

### 公共施設

**質問** 豊岡東小の統廃合は、住民合意が得られているか。

**答弁** 豊岡東地区から地区協議会で協議した結果、26年4月1日に統合を目指す決議をしたとの報告があり、方向として合意は得ていると認識している。

**質問** 福田地区の幼稚園と保

育園の統合は、地域の人たちの声を聞いているか。就学前教育や保育の保障は。

**答弁** （仮称）福田幼保園は、自治会連合会福田支部長ほか福田地区幼稚園PTA役員等の要請を受け方針を決定した。現在、協議会を設置し検討しているが、その中で豊浜幼稚園の存続や福田幼保園建設反

対の声はない。就学前教育や保育の保障は、市内各園と同様に充実に努める。

市職員

【質問】 正規職員と非正規職員の現状と課題、今後の職員採用の予定は。

【答弁】 24年4月1日現在、消防、病院を含む正規職員1990人、非正規職員は1100人である。課題は、年齢構成の不均衡で、今後も中長期的な視点で職員採用を行う。



市職員

【答弁】 対する現状と今後の計画は。現状は54人、14・3%で、目標には達していない。今後も男女を区別することなく採用や研修を行い、各職場において、管理監督者の能力開発や資質向上を図る。

教育

【質問】 給食調理員の退職不補充は問題と考えるが見解は。

【答弁】 学校給食の委託は、調理洗浄、配送部分のみで、地産地消を取り入れた献立作成及び食材の調達は、市が責任を持って行っている。

消防体制／教育の諸課題  
地域経済

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

消防

【質問】 消防の広域化推進計画の現状と課題は。

【答弁】 消防広域化は、関係市町の地域防災計画の見直しの進捗を見ながら、今後の方向性を考えたい。課題としては、職員の処遇や施設整備などの協議が必要と考えている。



消防団

【質問】 消防団の組織見直しの内容と課題を伺う。

【答弁】 詰所について津波浸水地域、旧耐震基準、借地等の課題解消を消防団内部で検討しており、推移を見守りたい。

教育

【質問】 東部小学校の新人教師であった故木村百合子さんの公務災害認定を求める裁判の判決について、見解と今後は。

【答弁】 木村さんの御冥福をお祈りし、御遺族に心よりお悔やみ申し上げる。判決を重く受けとめ、教育環境や教育支援体制の整備に尽力していく。

【質問】 木村さんの母親と支援者が提出した要望書の対応は。

【答弁】 今後も新規採用教職員等への支援を続けていきたい。教職員定数増等は、県へ要望するとともに、教育支援員の配置や支援を要する児童生徒へチームで対応していく。

【質問】 子供施策等に子供の権利の視点を盛り込むため、子ども条例を制定する考えは。

【答弁】 子ども・子育て支援法が公布されるなど、行政環境も変化してきており、現時点での制定は考えていないが、今後の研究課題だと考える。

地域経済

【質問】 駅前商店街の活性化策、旧ユニ一跡地の今後を伺う。

【答弁】 軽トラ市や空き店舗対策事業など、今後も地域の積極的な活動への仕掛けと支援を続けていきたい。旧ユニ一跡地は、利用の予定がないことから売却していきたい。

議会の権限の一部を  
市長の専決処分事項に指定（議員発議）

これは、議会の権限に属する事項を、市長の専決処分事項に指定しようとするものです。内容は、訴訟物の価額が100万円以下の債権の徴収に係る訴えに関するものを、新たに追加するものです。提出者からは、今定例会で債権管理条例が可決し、市債権の統一的な処理基準が定められた。任意返済の合意がない非強制徴収債権は、裁判所による強制執行で回収を図るが、支払い督促の申し立てでは、いつ異議の申し立てがなされ、訴訟となるか想定できない。そこで、訴訟に円滑に移行するため、市長の専決処分事項に一定額の訴えの提起等を追加する、などの趣旨説明がありました。

【賛成22（創・新・志・誠・公）、反対3（共）により可決。 ※欠席1（争）】  
これは、議会の権限に属する事項を、市長の専決処分事項に指定しようとするものです。内容は、訴訟物の価額が100万円以下の債権の徴収に係る訴えに関するものを、新たに追加するものです。提出者からは、今定例会で債権管理条例が可決し、市債権の統一的な処理基準が定められた。任意返済の合意がない非強制徴収債権は、裁判所による強制執行で回収を図るが、支払い督促の申し立てでは、いつ異議の申し立てがなされ、訴訟となるか想定できない。そこで、訴訟に円滑に移行するため、市長の専決処分事項に一定額の訴えの提起等を追加する、などの趣旨説明がありました。

権限の委任は妥当な判断

【賛成（新）】 本案は、厳しい歳入状況の中、収入未済等について、これまでの市議会の要請に対する市の対応の一つと受けとめる。市長に委任する権限は、市債権のうち非強制徴収公債権または私債権に限られ、また、支払い督促後異議申し立てがあった場合の取り扱いに限られ、軽微であり妥当と認識する。価額の設定は、市債権の約9割が100万円以下であり、適当と判断する。慎重な運用をお願いし、賛成する。

討論

専決処分への追加は拙速

【反対（共）】 本案は、議会の権限に属する事項であり、本

# 浜岡原子力発電所の「永久停止・廃炉」を求める請願

【請願者】

浜岡原発はいらない磐田の会

代表者 伊藤通玄さん

野澤正利さん

外1万1771名

本請願の趣旨は、①市議会が浜岡原発の永久停止・廃炉を決議②政府に対して浜岡原発の永久停止・廃炉を求め、原発依存から省エネルギー・再生可能エネルギー主体のエネルギー政策に転換するよう要請③中部電力(株)に対し浜岡原発の永久停止・廃炉を要求し、核燃料・使用済み核燃料の安全管理のため、地震動対策・津波対策の万全を期するよう要求を—というものです。総務委員会で審査し「不採択とすべきもの」と決定。12月25日の本会議でも採択に賛成4(共・争)、反対22(創・新・志・誠・公)により、不採択と決定しました。

## 討論

### 永久停止・廃炉の工程を

賛成(共) 福島第一原発の

災害は、人々に大きな衝撃を

与えた。浜岡原発は、想定東

海地震の震源域の真上に立地し、世界一危険な原発といわれている。浜岡原発で重大事故が起きれば、私たち市民は生命の危険にさらされ、厳しい避難生活を余儀なくされる。請願事項は、多くの国民の願いである。稼働を続けられ、使用済み核燃料は増え続ける永久停止し、廃炉の工程を示すほうが現実的であり、請願は採択すべきである。

### 国が責任を持って判断を

反対(新) 市議会は、23年

5月に浜岡原発の安全対策などを求める意見書を採択した。その後、同原発の永久停止・廃炉を求める陳情や、安全対策及び再生可能エネルギー普及の取り組みに関する意見書の提出要請もあったが、いずれも不採択だった。その争点は、永久停止・廃炉の認識の違いであった。同原発は、国の要請で止めたものであり、国が責任を持って、国民が納得する判断をすべきである。よって採択に反対する。

## 審議結果

### ■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 手数料条例の一部改正
- (2) 火災予防条例の一部改正
- (3) 専決処分(24年度一般会計補正予算(第4号))
- (4) 24年度一般会計補正予算(第5号)
- (5) " 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- (6) " 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- (7) " 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- (8) " 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- (9) " 水道事業会計補正予算(第1号)
- (10) 暴力団排除条例の制定
- (11) 債権管理条例の制定
- (12) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (13) 防災会議条例の一部改正
- (14) 災害対策本部条例の一部改正
- (15) 体育施設に関する条例の一部改正
- (16) 豊岡総合センター条例の一部改正
- (17) 市営豊岡循環バス条例の廃止
- (18) 指定管理者の指定(総合体育館外14施設)
- (19) " (福田屋内スポーツセンター外9施設)
- (20) " (竜洋海洋センター体育館外6施設)
- (21) " (アミューズ豊田外10施設)
- (22) " (香りの博物館外1施設)
- (23) " (福田健康福祉会館)
- (24) " (老人ホーム楽寿荘)
- (25) 財産の取得
- (26) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

### ■賛成多数により可決された議案

- (1) 市長の専決処分事項の指定の一部改正
- ※ この議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。賛成22(創・新・志・誠・公)、反対3(共) ※欠席1(争)

### ■不採択になった請願

- (1) 浜岡原子力発電所の「永久停止・廃炉」を求める請願
- ※ この議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。賛成4(共・争)、反対22(創・新・志・誠・公)

### ■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣について

会派名の表記(人数) ※24年12月25日現在  
 「創」創志会(7)、「新」新磐田(6)、「志」志士の会磐田(5)、「誠」誠和会(3)、「共」日本共産党磐田市議団(3)、「公」公明党磐田(2)、「争」争論(1)  
 (注)議長は採決に加われません。

## 2月定例会の予定

—2月14日～3月22日(37日間)—

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局(電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845)までお問い合わせください。

- 2月 14日 本会議(先議議案の上程、説明)  
 予算委員会・常任委員会
- 15日 本会議(当初予算等の上程、説明)
- 18日 予算委員会・常任委員会(審査予備日)
- 22日 本会議(先議議案の採決)
- 25日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(一般質問)
- 28日 本会議(一般質問予備日)
- 3月 1日 本会議(当初予算に対する代表質疑)
- 4日 本会議(一般議案に対する質疑)  
 予算委員会
- 5日 分科会・常任委員会
- 6日 分科会・常任委員会
- 7日 分科会・常任委員会(審査予備日)
- 14日 予算委員会
- 22日 本会議(議案の採決)

※いずれも午前10時から

## 編集後記

本定例会では、指定管理者指定議案を審議しました。指定管理者制度は、民間のノウハウを活用し、施設を利用される皆さんの利便性向上や運営経費の削減を図るための制度です。市の施設が、より魅力あふれるものとなり、多くの市民の皆さんに活用いただくことを期待します。